

# 外国人の子どもの就学状況等に関する調査の結果について

## 1. 経緯等

文部科学省では、平成21年度「帰国・外国人児童生徒受入促進事業」の一環として、事業実施地域のうち、任意の地域に対して、外国人の子どもの就学状況(就学者、不就学者、転居、転出等)等に関する調査を委嘱した。

## 2. 調査結果の概要

### ○調査の実施方法

【実施地域】29市(市名は(1)就学者等《地域別》参照)

【調査期間】平成21年7月～平成22年3月の半年間

【調査対象】調査実施地域における平成21年度外国人登録者のうち義務教育の就学年齢にある子ども

【調査方法】以下の手順を基本として、各地域において調査を実施。

- (1) 当該自治体の外国人登録者の中から、義務教育の就学年齢にある子どもの名簿を作成。
- (2) (1)の名簿から、義務教育諸学校(国公立)や外国人学校等に在籍するなどして、学習を受けている者を除くことで、就学状況が不明な者の名簿を作成。
- (3) (2)の者の居所に、戸別訪問や保護者宛てのアンケート調査票を郵送するなどして子どもの就学状況を調査。

### (1) 就学者数等

《学齢別》

(人(%))

調査対象 区分	外国人 登録者数	就学者数		不就学者数 <sup>(注3)</sup>	転居・出国等 <sup>(注4)</sup>
		公立学校等 <sup>(注1)</sup>	外国人学校等 <sup>(注2)</sup>		
小学校1年生	1,509	945 (62.6)	175 (11.6)	7 (0.5)	382 (25.3)
小学校2年生	1,484	971 (65.4)	170 (11.5)	7 (0.5)	336 (22.6)
小学校3年生	1,489	970 (65.1)	189 (12.7)	7 (0.5)	323 (21.7)
小学校4年生	1,504	979 (65.1)	218 (14.5)	8 (0.5)	299 (19.9)
小学校5年生	1,501	954 (63.6)	202 (13.5)	6 (0.4)	339 (22.6)
小学校6年生	1,465	969 (66.1)	184 (12.6)	11 (0.8)	301 (20.5)
小 計	8,952	5,788 (64.7)	1,138 (12.7)	46 (0.5)	1,980 (22.1)
中学校1年生	1,346	861 (64.0)	170 (12.6)	11 (0.8)	304 (22.6)
中学校2年生	1,253	842 (67.2)	170 (13.6)	13 (1.0)	228 (18.2)
中学校3年生	1,253	844 (67.4)	154 (12.3)	14 (1.1)	241 (19.2)
小 計	3,852	2,547 (66.1)	494 (12.8)	38 (1.0)	773 (20.1)
合 計	12,804	8,335 (65.1)	1,632 (12.7)	84 (0.7)	2,753 (21.5)

(注1) 公立学校等：国公立小・中・特別支援学校(小・中学部)・中等教育学校(前期課程)を指す。

(注2) 外国人学校等：我が国に居住する外国人を専ら対象として我が国の小学校、中学校等の段階に相当する組織的・体系的な教育を行う施設等を指す。

(注3) 不就学者：公立学校等及び外国人学校等のいずれにも就学していない者を指す。

(注4) 転居・出国等：転居・出国その他何らかの事情により連絡が取れない者を指す。

※ 外国人登録者数に占める就学者数等の割合は、小数点第二位以下を四捨五入しているため、必ずしも合計が100%にはならない。

## 《地域別》

(人(%))

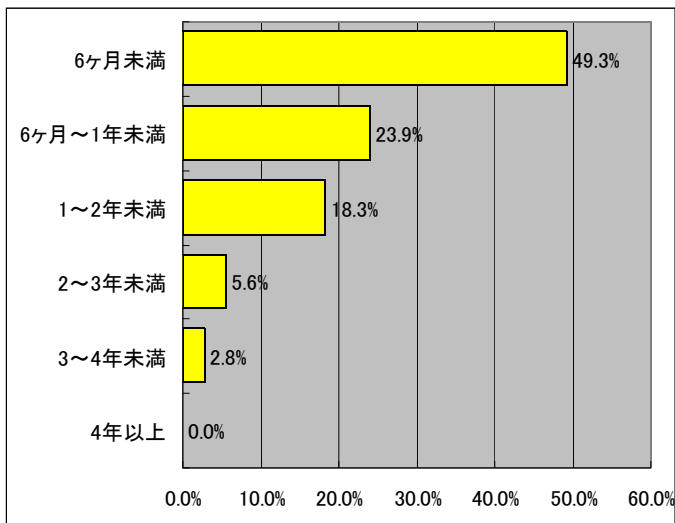
№	調査対象の自治体	外国人登録者数	就学者数		不就学者数 <sup>(注3)</sup>	転居・出国等 <sup>(注4)</sup>
			公立学校等 <sup>(注1)</sup>	外国人学校等 <sup>(注2)</sup>		
1	茨城県 結城市	165	116 ( 70.3 )	0 ( 0.0 )	1 ( 0.6 )	48 ( 29.1 )
2	栃木県 宇都宮市	387	292 ( 75.5 )	5 ( 1.3 )	1 ( 0.3 )	89 ( 23.0 )
3	群馬県 太田市	826	488 ( 59.1 )	90 ( 10.9 )	9 ( 1.1 )	239 ( 28.9 )
4	千葉県 成田市	172	172 ( 100 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )
5	富山県 高岡市	249	176 ( 70.7 )	0 ( 0.0 )	2 ( 0.8 )	71 ( 28.5 )
6	富山県 射水市	194	146 ( 75.3 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	48 ( 24.7 )
7	石川県 小松市	73	69 ( 94.5 )	0 ( 0.0 )	2 ( 2.7 )	2 ( 2.7 )
8	福井県 越前市	146	146 ( 100 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )
9	長野県 長野市	173	173 ( 100 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )
10	長野県 伊那市	186	112 ( 60.2 )	23 ( 12.4 )	0 ( 0.0 )	51 ( 27.4 )
11	岐阜県 大垣市	488	212 ( 43.4 )	80 ( 16.4 )	1 ( 0.2 )	195 ( 40.0 )
12	岐阜県 美濃加茂市	452	229 ( 50.7 )	52 ( 11.5 )	15 ( 3.3 )	156 ( 34.5 )
13	静岡県 袋井市	350	142 ( 40.6 )	55 ( 15.7 )	19 ( 5.4 )	134 ( 38.3 )
14	静岡県 湖西市	328	190 ( 57.9 )	20 ( 6.1 )	1 ( 0.3 )	117 ( 35.7 )
15	愛知県 岡崎市	515	424 ( 82.3 )	51 ( 9.9 )	4 ( 0.8 )	36 ( 7.0 )
16	愛知県 豊田市	1,666	1,190 ( 71.4 )	114 ( 6.8 )	10 ( 0.6 )	352 ( 21.1 )
17	愛知県 西尾市	387	175 ( 45.2 )	17 ( 4.4 )	5 ( 1.3 )	190 ( 49.1 )
18	三重県 伊賀市	323	216 ( 66.9 )	24 ( 7.4 )	0 ( 0.0 )	83 ( 25.7 )
19	三重県 松阪市	181	120 ( 66.3 )	8 ( 4.4 )	3 ( 1.7 )	50 ( 27.6 )
20	三重県 鈴鹿市	1,006	620 ( 61.6 )	49 ( 4.9 )	5 ( 0.5 )	332 ( 33.0 )
21	滋賀県 長浜市	296	185 ( 62.5 )	41 ( 13.9 )	3 ( 1.0 )	67 ( 22.6 )
22	滋賀県 湖南市	239	146 ( 61.1 )	21 ( 8.8 )	0 ( 0.0 )	72 ( 30.1 )
23	滋賀県 甲賀市	258	193 ( 74.8 )	19 ( 7.4 )	1 ( 0.4 )	45 ( 17.4 )
24	滋賀県 彦根市	112	71 ( 63.4 )	15 ( 13.4 )	0 ( 0.0 )	26 ( 23.2 )
25	大阪府 八尾市	399	367 ( 92.0 )	23 ( 5.8 )	0 ( 0.0 )	9 ( 2.3 )
26	兵庫県 神戸市	2,432	1,397 ( 57.4 )	749 ( 30.8 )	2 ( 0.1 )	284 ( 11.7 )
27	兵庫県 姫路市	735	505 ( 68.7 )	176 ( 23.9 )	0 ( 0.0 )	54 ( 7.3 )
28	兵庫県 南あわじ市	12	12 ( 100 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )
29	高知県 高知市	54	51 ( 94.4 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	3 ( 5.6 )
	合計	12,804	8,335 ( 65.1 )	1,632 ( 12.7 )	84 ( 0.7 )	2,753 ( 21.5 )

- (注1) 公立学校等：国公立小・中・特別支援学校（小・中学部）・中等教育学校（前期課程）を指す。  
(注2) 外国人学校等：我が国に居住する外国人を専ら対象として我が国の小学校、中学校等の段階に相当する組織的・体系的な教育を行う施設等を指す。  
(注3) 不 就 学 者：公立学校等及び外国人学校等のいずれにも就学していない者を指す。  
(注4) 転居・出国等：転居・出国その他何らかの事情により連絡が取れない者を指す。  
※ 外国人登録者数に占める就学者数等の割合は、小数点第二位以下を四捨五入しているため、必ずしも合計が100%にはならない。

## (2) 不就学の子どもの状況について

下記の集計結果は、前記(1)の調査結果の中で、「不就学」と回答した85名のうち、対面調査等に協力した保護者等71名に聴取した結果をとりまとめたものである(本項目の「学校」には、外国人学校も含む。)

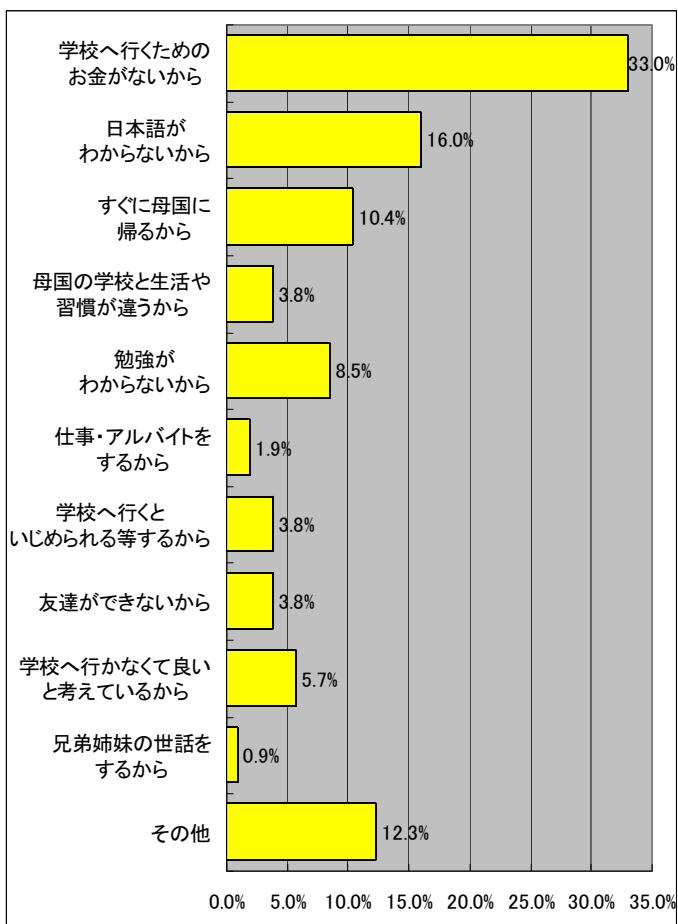
### 《不就学の期間》



#### 《結果概要》

不就学の期間は、6ヶ月未満が一番多く、次いで6ヶ月～1年未満となっている。

### 《不就学の理由》(複数回答)



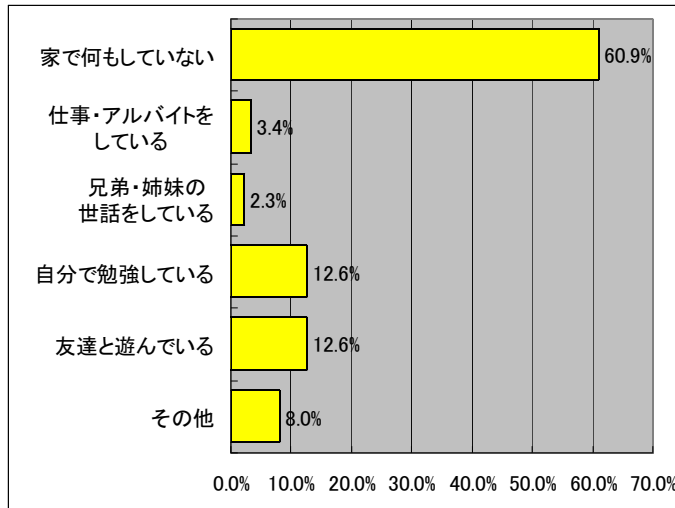
#### 《結果概要》

不就学である理由としては、「学校へ行くためのお金がないから」が一番多く、次いで「日本語が分からないから」、「すぐに母国に帰るから」となっている。

#### 《「その他」の内容》

- ・まだ来たばかりで対応できていない。
  - ・学校のことがよくわからなかった。
  - ・親が仕事で学校のことを相談に行けなかった。
  - ・知的、身体の重複障害があり、特別支援学校への就学を相談中。
  - ・病気があるので、日本の病院へまずかかってから、学校のことを考えようと思っていた。
  - ・引越しを繰り返したから。
- 等

《日中何をして過ごしているか》(複数回答)



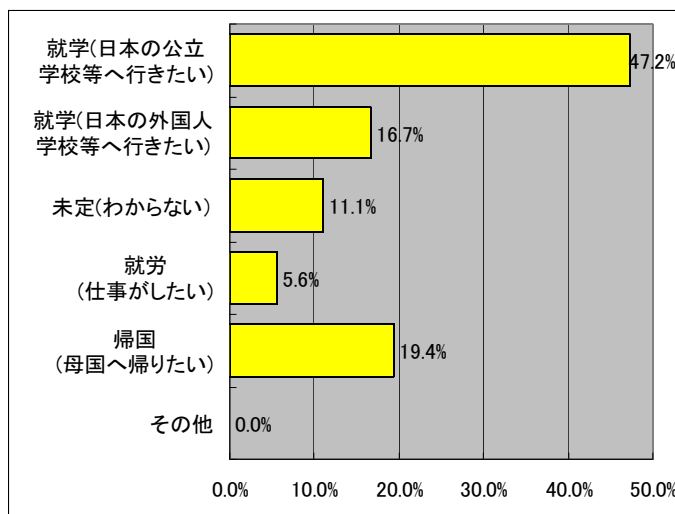
《結果概要》

不就学の子どもは日中、「家で何もしていない」ことが一番多く、次いで「自分で勉強している」、「友達と遊んでいる」が多い。

《「その他」の内容》

- ・同じ出身国の保護者の知人から、自宅で日本語や母語、教科の内容について指導を受けている。
- ・週2回学習塾で日本語の学習をしている。
- ・父の手伝い
- ・パソコン・テレビ
- ・兄弟と遊ぶ

《今の希望》(複数回答)



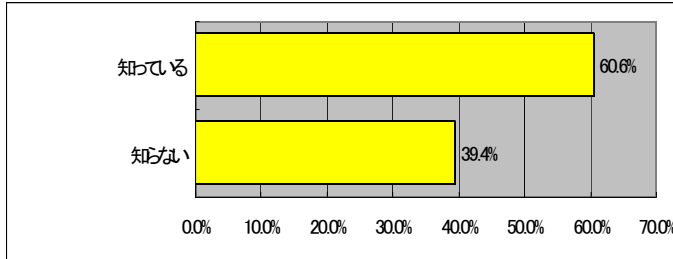
《結果概要》

今の希望としては、「就学(日本の公立学校等へ行きたい)」が一番多く、次いで「帰国(母国へ帰りたい)」となっている。

### (3) 就学手続きにおける課題

下記の集計結果は、前記(1)の調査結果の中で、「不就学」と回答した85名のうち、対面調査等に協力した保護者等71名に聴取した結果をとりまとめたものである(本項目の「学校」には、外国人学校も含む。)

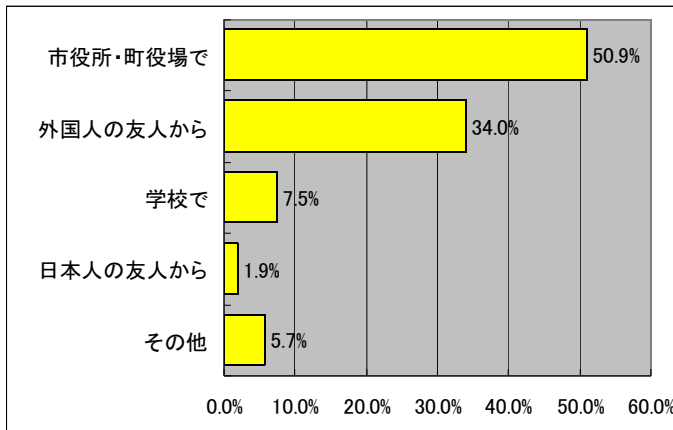
《日本の公立学校へ入学する方法や手続きを知っているか》



#### 《結果概要》

子どもが不就学であっても、6割以上の者は、公立学校への就学方法を知っていた。

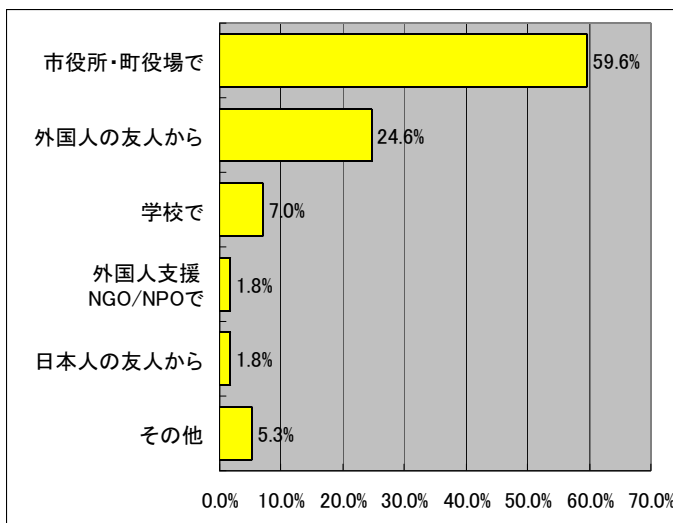
【上記質問で「知っている」と回答した方への質問】  
《知っている場合、どこでそのことを知ったか》(複数回答)



#### 《結果概要》

公立学校に関する情報の入手方法については、「市役所・町役場で」が一番多く、次いで「外国人の友人から」となっている。

《学校や教育に関する情報を入手しやすい場所はどこか》(複数回答)



#### 《結果概要》

教育に関する情報を入手しやすいのは、「市役所・町役場で」が一番多く、次いで「外国人の友人から」となっている。

#### 《「その他」の内容》

・教育委員会等による家庭訪問 等